

今号の作業

ピリオンステップ(右)を取り付ける

今号では、モデルの右側面後方にタンデムシート用の「ピリオンステップ」を取り付ける。作業は74号のときと同じなので、特に問題となる工程はないだろう。ただ、ピリオンステップの可動軸となるピリオンステップピンは非常に細く短いので、作業中の紛失には十分に注意しよう。

今号のパーツ

- ①ピリオンステップラバー×1
- ②ピリオンステップ×1
- ③ビス(Pタイプ)×2
(※1本は予備)
- ④ピリオンステップピン×1
- ⑤ピリオンステップブラケット×1

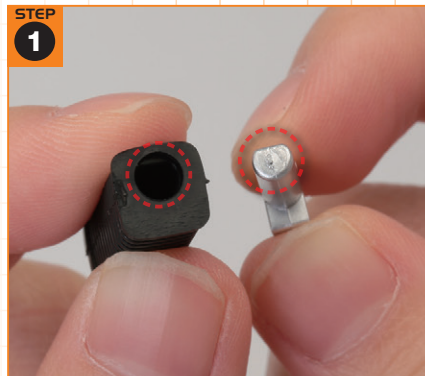
用意するもの

・メインフレーム(74号で組み立てたもの)

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・ラジオペンチ
- ・マスキングテープ

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。



②ピリオンステップと①ピリオンステップラバーを用意し、取り付け部分の形状を確認する。ピリオンステップの軸部分は断面がD字状になっており、ピリオンステップラバーの穴は、それが差し込まれる形状になっている。



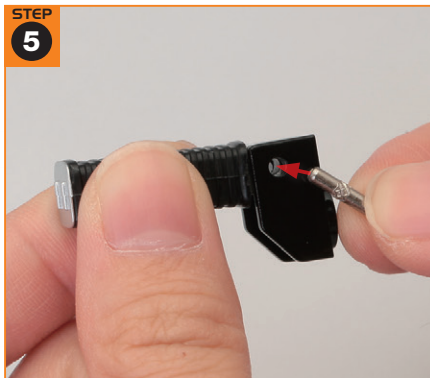
ピリオンステップの軸部分をピリオンステップラバーの穴へ差し込み、そのまま真っすぐに押し込む。



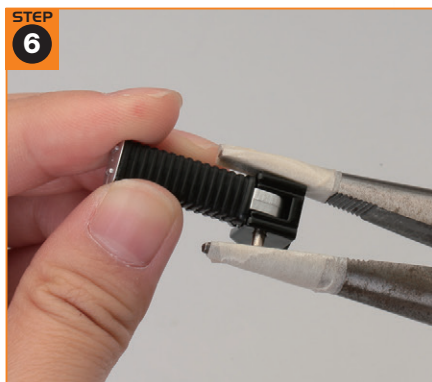
⑤ピリオンステップブラケットを用意し、②で組み立てたピリオンステップを写真の向きでセットする。向きを間違えると可動方向が逆になってしまうので注意しよう。



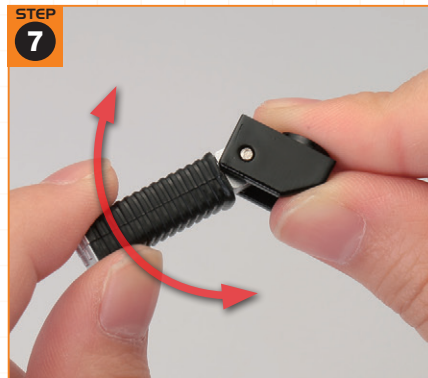
ピリオンステップブラケット側面の穴と、差し込んだピリオンステップの穴の位置を合わせる。



④ピリオンステップピンを用意し、ピリオンステップブラケットの穴にセットする。ピンをセットする向きはどちらでも構わない。また、穴は貫通しているため、どちらから差し込んでも問題はない。



先端にマスキングテープを巻き付けたラジオペンチを使い、差し込んだピリオンステップピンを奥まで押し込む。このとき、ピンが傾いていると貫通できず、奥まで押し込めなくなるので注意しよう。



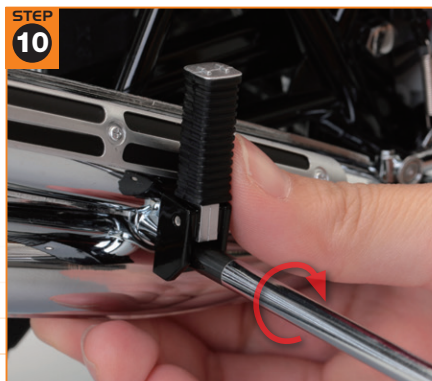
ピリオンステップをブラケットに取り付けたら、写真のように可動することを確認しよう。



メインフレームの右側に伸びたマフラーに設けられた取り付け部と、ピリオンステップブラケット裏側の形状を確認し、位置を合わせてセットする。



③ビス(Pタイプ)を用意し、写真で示したビス穴にセットする。このとき、ピリオンステップは写真のように収納状態(上に向ける)にしておく。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Pタイプのビスをねじ込んで、ブラケットを取り付け部に固定する。



取り付けしたピリオンステップが、スムーズに動くか確認しよう。

今号の完成



今回の作業はこれで完了だ。モデルの左側面に続き、右側面後方にもピリオンステップが取り付けられた。この写真ではピリオンステップを出した状態になっているが、収納した状態にもできるので、好みに合わせてディスプレイしてみよう。